

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	自己点検シート（チェックリスト）の実施の結果分析により今後の身体拘束廃止に向けての対策に活かさなければならない。	身体拘束廃止をきっかけに「より良いケア」の実現を図る。	自己点検後の結果分析を行い、職員個々の理解の向上、全体でも研修や委員会等で議論し、共通の意識を持つ。	12ヶ月
2	26	利用者のニーズ・目標をより具体的にとらえて設定し、5W1Hを意識した内容の介護計画を作成しなければならない。	利用者と寄り添った中で把握した真のニーズを見出し、その方らしい生活を取り戻せるようなケアプランを作成する。	利用者に寄り添って要望を把握したり、本人が気づいていないニーズを日頃のコミュニケーションの中から引き出す。また、そのニーズを解決するため適切な情報をスタッフとも議論していく。	3ヶ月
3	35	職員の緊急時対応スキルアップのための実技訓練の定期的実施しなければならない。	緊急時対応マニュアルが全職員の日常的な意識の中にあるようにする。	緊急時訓練の実施。全職員がマニュアルの学習を日頃から行う。訓練時は任務を分担し、連携、分担責務の重要性を学ぶ。訓練後は総括・討議することで全体のスキルを高め合い、緊急時の初動行動をスムーズに行えるようにしていく。また救急救命講習等の勉強会参加の徹底。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。